point

株式会社ポイント

2009年2月期(第59期)

上期経営報告

下期経営方針

代表取締役社長 石井 稔晃

2008年10月6日

2009年2月期中間決算のポイント

期初計画を超過し経常ベース2桁増益を達成

兴众 ,五下田	2008/2	中間期		2009/2中間期				
単位∶百万円		構成比		構成比	前中間 期比	期初 計画比		
売上高	32,077	100.0%	38,425	100.0%	119.8%	101.1%		
売上総利益	19,797	61.7%	23,206	60.4%	117.2%	-		
販管費	14,493	45.2%	17,225	44.8%	118.8%	-		
経常利益	5,348	16.7%	6,078	15.8%	113.6%	108.5%		
特別損失	252	0.8%	386	1.0%	153.2%	-		
当期利益	3,065	9.6%	3,350	8.7%	109.3%	108.1%		



上期の主な成果

当期施策を計画通り実行

新プランド「インメルカート」順調にスタート

香港事業順調にスタート

成長期ブランドの戦略的出店実施

▶ レプシィム18店舗中心に計画通り出店

商品開発・生産・調達の深耕

▶ 川上に精通した人材を採用し商品企画機能強化に着手

人材力・組織力を一層強化

► エリアマネジャー育成によるDNA継承

point

新ブランド展開 インメルカート順調にスタート

ブランドコンセプト「日常生活の中で必要とされるブランド」

inmercanto

- ▶ 上期3店舗出店
 防府·伊勢崎·山梨中央
- ▶ 通期出店計画5店舗 8店舗に上方修正



インメルカート 伊勢崎店



香港出店

ブランド力が評価され順調にスタート





ローリーズファーム TELFORD PLAZA店

ジーナシス APM店

- ▶ 上期5店舗出店
- ▶ 通期出店計画5店舗 8店舗に上方修正

point

下期方針と取組み

次期中期経営計画に向けてTOP9の総仕上げ

主力プランドの商品企画機能・販売力強化

成長期ブランドの戦略的出店を計画通り実施

▶ ジーナシス、ヘザー、アパート、レプシィムを中心に出店

出店戦略の多様化

- ▶ ブランド複合店舗の出店
- ▶ アンダーカレントはグローバルワークのブランド内展開

TOP9の総仕上げとして、人材力・組織力を一層強化



point

2009年2月期(第59期) 上期営業報告 取締役常務執行役員 櫻井 健一

2008年10月6日

売上高の状況

{売上高} 384{億円 前中間期比} 119.8%

新規店舗出店

純増48店舗

~内EC6店舗、台湾2店舗、香港5店舗

既存店の継続的な改装

改装19店舗(通期計画50店舗)

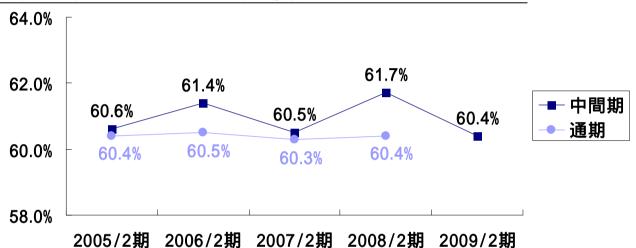
~9月に7店舗改装済

((国内、対前期比%)			2009/2期		
(, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,		上期	下期	通期	上期	
		売上	120.6	119.5	120.0	120.0
	全店	客数	120.5	119.1	119.8	123.0
		客単価	100.1	100.3	100.2	97.6
		売上	95.6	99.5	97.8	99.7
		客数	96.7	99.9	98.4	102.1
		客単価	98.9	99.6	99.4	97.6



売上総利益率の状況

売上総利益率 60.4% 前中間期比 1.3%



主な変動要因

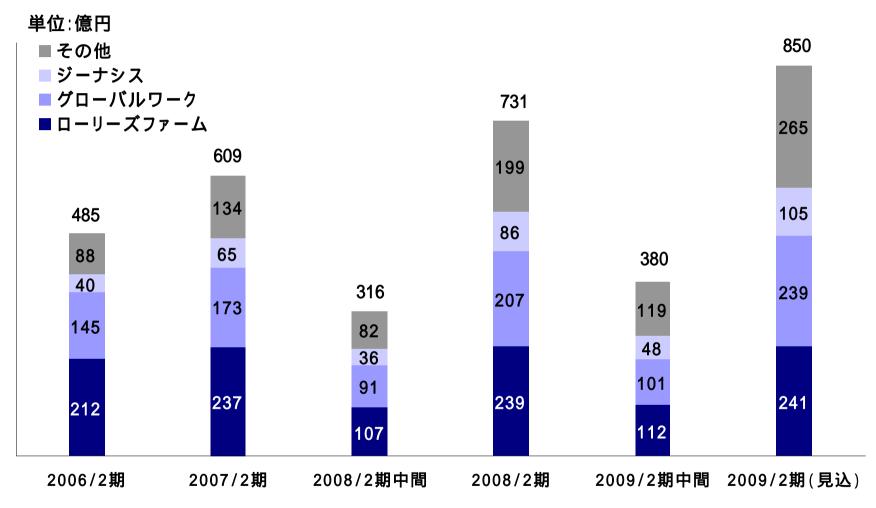
・前中間期比マイナスの内 0.7%は会計上の影響

在庫は前中間期比30.0%増

・店舗面積は前中間期末比26.0%増加しており適正水準



ブランド別の売上高の推移(国内)

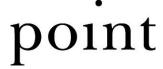


決算年度



ブランド別出店・売上状況(国内)

	20	08/2中間期		2009/2中間期					
単位∶百万円	売上	高	中間	期首		売上高		中間 期末 店数	
		構成比	期末 店数	店数		構成比	前中間 期比		
レイシ・ブルー	2,492	7.9%	32	39	2,648	7.0%	106.3%	43	
グローバルワーク	9,155	28.9%	119	130	10,187	26.8%	111.3%	137	
ローリース・ファーム	10,790	34.1%	106	112	11,233	29.6%	104.1%	113	
シ'ーナシス	3,654	11.5%	50	55	4,842	12.7%	132.5%	59	
ヘサ' ー	1,427	4.5%	28	33	1,894	5.0%	132.7%	36	
Nν	1,422	4.5%	22	25	1,630	4.3%	114.6%	28	
アハ'ートハ'イローリース'	883	2.8%	13	14	1,283	3.4%	145.3%	19	
アンダーカレント	566	1.8%	11	12	575	1.5%	101.6%	4	
レプシィムローリース・ファーム	605	1.9%	10	21	2,143	5.6%	353.9%	39	
インメルカート	-	-	-	-	93	0.2%	-	3	
ナインプロックス・(アクレア)	684	2.1%	13	15	1,468	3.9%	214.6%	16	
合計	31,683	100.0%	404	456	38,003	100.0%	119.9%	497	
内自社EC	-	-	-	9	878	2.3%	-	8	



店数にはECサイト・自社ECサイトを含んでおります ナインブロックスにはブランド名アウトレット店舗を含んでおります

ブランド動向 主要3ブランド

ローリーズファーム

LOWRYS FARM

アパートバイローリーズとの協働・協調実施(三宮店)

 商品企画機能強化により更なる成長を実現 姉妹ブランドとの協働・協調による大型店舗チャレンジ



グローバルワーク

G.

8店舗出店と合わせ生産性を改善大型店舗でアンダーカレントとの協働・協調を実施し成果確認

一部店舗でアンダーカレントを本格展開



ジーナシス

JEANASIS

既存店2桁成長を遂げ急成長継続

■ 売上高100億円達成を視野に入れ出店継続





ブランド動向 主要3ブランドに続くブランド育成

レイジブルー

GRAGEBLUE

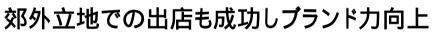
知名度向上し成長継続

プランドイメージの定着が課題



ヘザー

Heather



■ 従姉妹ブランドとの協働・協調



ハレ

HARE

独自性を保ちながらトレンドへの変化対応実施

■ ダウンタウンへの出店を強化





ブランド動向 成長期ブランドの進展

アパートバイローリーズ - apart by lowrys

ローリーズファームとの協働・協調実施(三宮店)

単独出店に加えて、ローリーズファームとの協働・協調 による出店を実施



レプシィムローリーズファーム — LEPSIM

本部体制強化が奏効し、大量出店を計画通り実施(18店舗出店)

▶大量出店継続(15店舗計画)



インメルカート

inmercanto

ブランドコンセプトが支持され順調なスタート

通期出店計画を上方修正





ブランド別出店・売上計画(国内)

	20	008/2期		200	09/2期計	画(当初)		200	09/2期計画	画(修正)	
単位∶百万円	売」	-高	期末		売上高		期末		売上高		期末
		構成比	店数		構成比	前期比	店数		構成比	前期比	店数
レイジ'フ'ルー	5,826	8.0%	39	6,500	7.6%	111.6%	46	6,200	7.3%	106.4%	47
ク'ローハ'ルワーク	20,684	28.3%	130	23,100	27.2%	111.7%	140	23,900	28.1%	115.5%	141
ローリース・ファーム	23,925	32.7%	112	24,100	28.4%	100.7%	114	24,100	28.4%	100.7%	117
シ'ーナシス	8,609	11.8%	55	9,800	11.5%	113.8%	65	10,500	12.4%	122.0%	65
ヘザ' -	3,708	5.1%	33	4,900	5.8%	132.1%	44	4,900	5.8%	132.1%	45
Nν	3,716	5.1%	25	4,200	4.9%	113.0%	28	4,000	4.7%	107.6%	30
アハ'ートハ'イローリース'	2,046	2.8%	14	3,000	3.5%	146.6%	22	3,000	3.5%	146.6%	21
アンダ ーカレント	1,204	1.6%	12	1,400	1.6%	116.2%	8	-	-	-	-
レフ・シィムローリース・ファーム	1,879	2.6%	21	5,600	6.6%	297.9%	51	5,900	6.9%	314.0%	54
インメルカート	-	-	-	300	0.4%	-	5	300	0.4%	-	8
ナインプロックス・(アグレア)	1,526	2.0%	15	2,100	2.5%	137.6%	16	2,200	2.6%	144.2%	16
合計	73,121	100.0%	456	85,000	100.0%	116.2%	539	85,000	100.0%	116.2%	544
内自社EC	582	0.8%	9	2,000	2.4%	343.6%	9	2,000	2.4%	343.6%	8



店数にはECサイト・自社ECサイトを含んでおります ナインブロックスにはブランド名アウトレット店舗を含んでおります 修正計画ではグローバルワークにアンダーカレントを合算しております

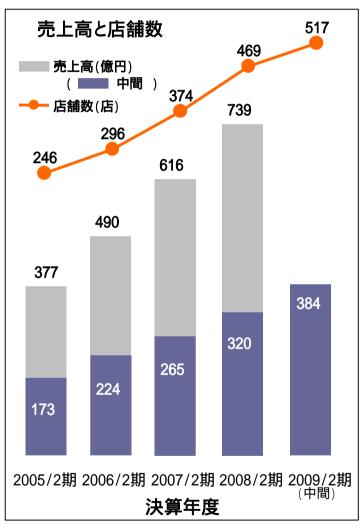
point

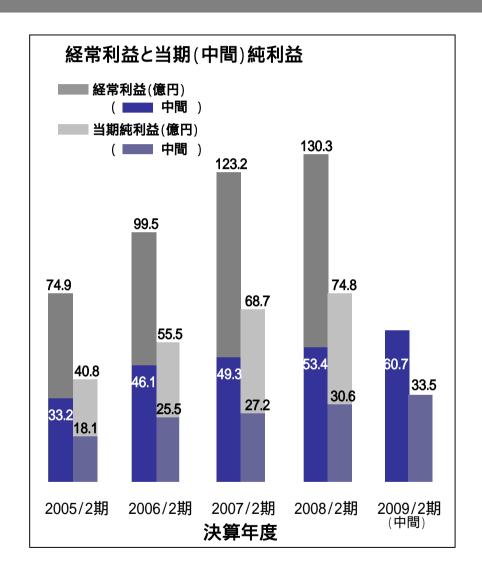
2009年2月期(第59期) 上期決算概要

取締役専務執行役員 遠藤 洋一

2008年10月6日

売上高と利益の状況





point

販売管理費の状況

販売管理費率 44.8% 前中間期比 0.4%低下

単位∶百万円	2008/2	中間期	200	2009/2中間期				
単位∶白力円		売上比		売上比	前中間 期比			
広告宣伝費	769	2.4%	857	2.2%	111.4%			
人件費	4,845	15.1%	5,725	14.9%	118.2%			
地代家賃	5,176	16.1%	6,249	16.3%	120.7%			
リース料	970	3.0%	1,177	3.1%	121.3%			
減価償却費	251	0.8%	306	0.8%	122.2%			
その他	2,481	7.7%	2,908	7.6%	117.3%			
合計	14,493	45.2%	17,225	44.8%	118.8%			

主な変動要因

ブランド力強化の為、戦略的な投資を継続

新卒120名採用(前年88名)

中間期末店舗面積26.0%増に伴い増加

包装費、電気料、カード手数料等が売上増に伴い増加



特別損失の状況

特別損失 386_{百万円 前中間期比} 153.2%

退店 国内8店舗

アンダーカレント5店舗退店 他3店舗はロケーション検討の結果

改装 19店舗、業態変更 4店舗

国内ローリーズファーム10店舗改装アンダーカレント3店舗業態変更

減損損失53百万円

減損処理対象4店舗



貸借対照表の主要項目

単位∶百万円	2008	/2期	2009/2中間期				
半位:日 万门		構成比		構成比	前期末比		
総資産	37,712	100.0%	39,731	100.0%	105.4%		
流動資産	20,895	55.4%	22,226	55.9%	106.4%		
固定資産	16,817	44.6%	17,505	44.1%	104.1%		
負債	15,363	40.7%	15,118	38.1%	98.4%		
純資産	22,349	59.3%	24,612	61.9%	110.1%		

主な変動要因

- ·短期運用としてCP1,997百万円購入
- ・出店に伴う保証金敷金増加(+502百万円)
- ·一括支払信託受益権1,179百万円購入

point

キャッシュ・フロー計算書

兴众 , 五七四	2008/2	2009/2中間期		
単位∶百万円	中間期		増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	582	2,320	1,738	
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,044	1,116	3,928	
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,409	1,251	158	
現金及び現金同等物の増減額	5,868	41	5,827	
現金及び現金同等物の期末残高	11,141	13,808	2,667	
フリーキャッシュ・フロー	4,462	1,204	5,666	

主な変動要因

·投資活動によるCF改善(前中間期は投資有価証券3,994百万円支出)



設備投資の状況

単位∶百万円	上期実績	下期予定	通期見込	期初計画
店舗関係	1,050	1,200	2,250	2,850
その他	64	170	234	320
計	1,114	1,370	2,484	3,170

下期も積極的な店舗展開・改装を計画

- ・下期出店63店舗(含む香港3店舗、台湾2店舗、業態変更出店2店舗)
- ·下期店舗改装31店舗
- ・その他は情報システム関連投資



(株)ポジックの状況(物流子会社)

単位∶百万円	2008/2	中間期	2009/2中間期			
		構成比		構成比	前中間期比	
売上高	322	100.0%	395	100.0%	122.9%	
営業利益	42	13.0%	87	22.1%	206.5%	
経常利益	42	13.0%	88	22.2%	207.5%	
中間純利益	24	7.5%	53	13.4%	212.3%	

営業状況

・作業効率改善により利益率向上



POINT HOLDINGの状況(香港子会社)

単位∶百万円	2007/12	2中間期	2008/12中間期		
		構成比		構成比	前中間期比
売上高	-	-	90	100.0%	-
営業利益	-	-	9	10.0%	-
経常利益	-	-	9	10.1%	-
中間純利益	-	-	7	8.4%	-
期末店舗数	-	-	5	-	5 店舗増

営業状況

- ・順調なスタートにより、計画を上回って推移
- ・ローリーズファーム3店舗、ジーナシス2店舗出店



波茵特股份有限公司の状況(台湾子会社)

単位∶百万円	2007/12	2中間期	2008/12中間期		
半 位;日刀门		構成比		構成比	前中間期比
売上高	394	100.0%	332	100.0%	84.1%
営業利益	67	17.0%	25	7.8%	38.3%
経常利益	68	17.3%	25	7.6%	37.1%
中間純利益	45	11.4%	13	4.0%	29.1%
期末店舗数	12	-	15	-	3 店舗増

営業状況

- ・景気低迷の影響を受け減収減益
- ・ジーナシス2店舗出店



2009年2月期見込み

単位∶百万円	2008	/2期	2009/2期計画			
半 位:日刀门		構成比		構成比	前期比	
売上高	73,941	100.0%	86,200	100.0%	116.6%	
売上総利益	44,696	60.4%	52,000	60.3%	116.3%	
販管費	31,736	42.9%	37,200	43.2%	117.2%	
経常利益	13,030	17.6%	14,900	17.3%	114.3%	
当期利益	7,488	10.1%	8,300	9.6%	110.8%	
店舗数	469	-	569	-	100店增	

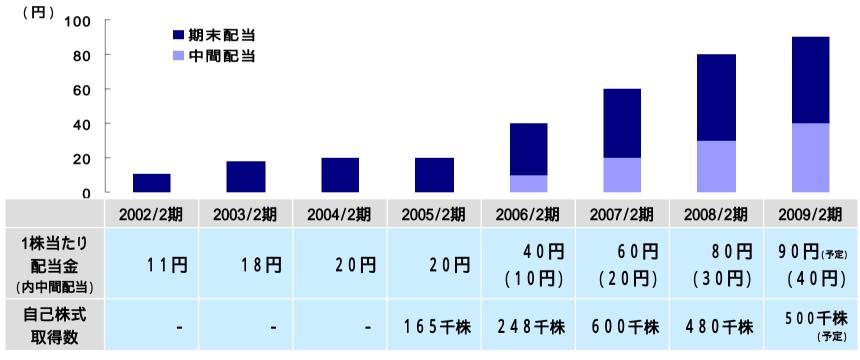
下期計画の説明

- ·出店63店舗(国内56店舗、香港3店舗、台湾2店舗、業態変更出店2店舗)
- ·退店11店舗
- ・改装31店舗を予定
- ·国内既存店売上高前期比97.0%



株主還元方針 連結ベース配当性向30%に向け順次配当を検討

- 1. 事業への投資を最優先に行い、企業価値の向上を図ります
- 2. 安定配当を基本とし、収益状況等を踏まえ、増配を検討します
- 3.利益還元の一つとして自己株式購入を適切且つ機動的に行ってまいります





業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報 及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によっ て大き〈異なる結果となる可能性があります。

